



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.106 —

令和4年7月（2022年）

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010
FAX 0279-23-1011

E-mail: 207-ShibuKawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

https://shibukawa.hosp.go.jp

渋川医療センター 広報誌



永年勤続表彰者と幹部職員

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児（者）の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

「看護の日」のイベントを開催しました	1
新人看護師14名です！よろしくお祈いします	2
コロナ対応における医療従事者派遣	3
永年勤続表彰30年を受賞して	6
永年勤続表彰20年を受賞して	8

職場紹介

栄養管理室	9
5階東病棟	10

シリーズ

- 患者さんにとって耳よりな情報
 - 「コロナ禍におけるマンモグラフィ検査」 11
 - 「～夏に摂取したい栄養素とは？～」 12
- 外来診療担当医表 13
- セカンドオピニオン担当医表 15
- 患者さんの権利 15
- 看護の理念、看護の基本方針 15
- 編集後記 15



「看護の日」のイベントを 開催しました

入退院センター看護師長 小畠 美津穂

「看護の日」は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、旧厚生省により1990年5月12日に制定されました。

「看護の日」を通じて看護の魅力を多くの方に知っていただく事を目的として、5月10日から5月13日まで、エントランスでナイチンゲール像を展示し、看護に尽くした生涯について掲示しました。また、病棟ポスターを作成し、「看護師が患者さんに対してどのような看護を提供しているか」、「患者さんが安全に入院して頂くために取り組んでいる事」等、病棟の様子がわかるよう写真付きで紹介しました。外来受診された患者さん方は立ち止まり、ナイチンゲールの生涯や病棟の様子についてご覧になっていました。

「看護の日」当日の5月12日にはサプライズ企画として有志職員によるピアノ演奏会を開催しました。1曲目は、サン＝サーンス「化石」を披露し、迫力ある連弾での演奏に皆さん聞き入っていらっしゃいました。その他、「花」「海」「夏は来ぬ」「夕焼け小焼け」「故郷」の5曲を披露しました。コロナ禍であり一緒に合唱することは叶いませんでしたが、歌詞を通じて季節を感じて頂けるよう歌詞カードを配布しました。歌詞カードをご覧になりながら演奏を聞かれ、「優しい気持ちになり癒された」「心温まる演奏に感動しました」等、ピアノ演奏は大変好評でした。

また、看護の日イベント期間中、通院されている患者さん方へアンケートの協力をお願いし、日頃より当院へ感じているご意見を頂戴しました。頂いたご意見を参考にさせて頂き、地域に根付いたより良い渋川医療センター作りをこれからも職員一同取り組んでいきたいと思えます。

「看護の日」を通じて、看護の魅力をお伝えし、看護を身近に感じて頂くことが出来たのではないかと感じています。これからも渋川医療センターでは、少しでも患者さんに喜んでいただき、心安らぐひとときを企画・運営したいと考えております。



ナイチンゲール像



病棟紹介



ピアノ演奏

新人看護師14名です！よろしくお願ひします

看護部 教育担当副看護師長 高橋 香奈

4月1日、看護部は14名の新人看護師を迎えました。コロナ禍で、看護学生時に十分な臨地実習ができないままでの就職となり、不安な気持ちを抱えながらの出発だったと思われます。4月6日～18日には9日間のローテーション研修を行いました。ローテーション研修は、半日～1日ずつ各部署を回り、看護の特徴や技術を学ぶ研修です。研修中新人看護師は、先輩看護師らと一緒に患者さんのケアを実施し、患者さんから「ありがとう」と感謝されたことがとても嬉しそうでした。また、徐々に同期の仲間とのコミュニケーションも図れ、学びたいことを指導者に伝えるなど積極的な行動もあり、9日間の研修の中でも、新人看護師の成長が感じられました。

研修直後、新人看護師に「自分が目指す看護師」について考えてもらったところ、「患者さん1人ひとりに寄り添うことができる看護師」「知識や技術を十分に身に付け、患者さんが安心して治療を受けられるようサポートできる看護師」「言葉だけではなく、患者さんのちょっとした表情や態度から変化に気付くことができる看護師」「確かな知識・技術を持ち、患者さんから信頼される看護師」など、具体的な目標が考えられていました。教育担当副看護師長として新人看護師の今後の成長が益々楽しみになりました。

4月20日、14名は9つの部署に配属され、看護師としての大きな一歩を踏み出しました。患者さんや先輩看護師との関わりを通し、看護師として確実に成長することを期待しています。キラキラしたこの笑顔がいつまでも続くよう、看護部全体で新人看護師の成長をサポートしていきたいと思ひます。是非、皆様にも新人看護師の成長を見守っていただけると幸いです。



4月19日 緩和ケア病棟中庭で撮影



【NEW新人看護師マーク】

名札のこのマークが目印です。
よろしくお願ひします！



コロナ対応における医療従事者派遣

コロナ対応における医療従事者派遣に参加して

6階東病棟副看護師長 神田 誠一

2020年よりコロナウィルスが流行し、当院ではコロナウィルス罹患患者の受け入れが開始となりました。また、厚生労働省の要請により、コロナウィルス感染症患者対応のためこれまで合計6名の看護師の派遣に応じてきました。今年度は多摩北部医療センターに1名、東京都の臨時医療施設の開設に伴い2名の看護師が派遣されています。私は臨時医療施設の開設に伴い、コアメンバー7名のうちの一人として「業務手順の作成」や「安全に感染対応を実施する為に限られた医療資源での物品配置」など、受け入れ体制の整備を行ってきました。その後、43名の派遣看護師と合流し約40名の感染症患者の対応にあたりました。

派遣されてきた看護師は、コロナウィルス患者看護の経験があるとは限らず、看護師としての経験も様々でした。派遣当初は、「自分がうつらないか不安」「限られた期間だから決められたことだけやる」等の後ろ向きな発言が聞かれました。しかし「患者さんの為に皆で協力しよう」と共通の目的を持って看護を行うことで、「患者さんが動けなくならないようにリハビリが必要だね」等の前向きな発言が聞かれ、困難を乗り越えることで全国から集まった看護師がチーム力を高めながら看護が行えたと実感しました。



仮設臨時医療施設

今後もこれらの経験と学びを活かし、十分な感染対応を行った上で、患者さんに寄り添う質の高い看護を提供したいと考えています。

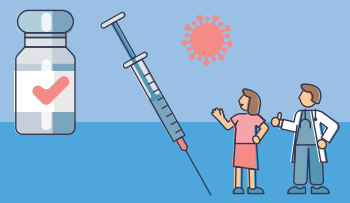
1日でも早いコロナウィルス感染症の収束を願いつつ、病棟スタッフの誰もが自信を持って派遣活動にも参加できるよう、今回の派遣での学びをスタッフ育成に活かしていきたいと思えます。

越えることで全国から集まった看護師がチーム力を高めながら看護が行えたと実感しました。

当院でも開設当初は、感染に対する不安から積極的に患者さんと向き合えない時期がありました。しかし、不安を共有しながらチームで改善を重ね、チーム力を高め根拠に基づいた感染対応実践をすることで、感染することなく患者対応ができています。



派遣看護師オリエンテーション



コロナ臨時施設への薬剤師派遣

薬剤師 小山 智之

令和4年4月4日～4月8日の1週間、東京都臨時医療施設（国立病院機構東京病院）にて薬剤師派遣として活動して参りました。その内容をご報告致します。

臨時医療施設は、令和4年3月14日より新型コロナウイルス感染患者を受け入れるために開設されました。施設概要は、病床数80床で2病棟の構成で、比較的軽症患者の受け入れを対象としています。スタッフの中心は医師、看護師、メディカルスタッフ（薬剤師、臨床検査技師）で構成されています。

我々薬剤師は、（当時期）関信グループ各施設より1名ずつの計2名体制で、1週間の派遣期間でのローテーションです。私は第4クールでの派遣者となりました。

行った業務内容としましては、始業・終業時の多職種カンファレンスの参加、入院受け入れ患者の持参薬鑑別、臨時処方へ切替の際に代替薬提案、新型コロナウイルス治療薬（ゼビュディ、ラゲブリオ、パキロビットなど）の使用状況把握・発注・在庫管理、他スタッフからの薬剤問い合わせ対応、使用薬剤コスト管理、派遣薬剤師業務マニュアルの見直し・改定などです。

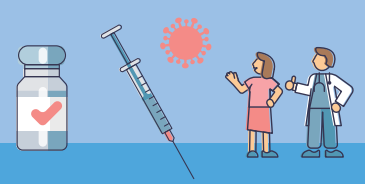
レッドゾーンに入りこそせず、事務サポート的な業務が主でしたが、漫然と受け身だけにはならないよう、常に他職種との関わりを意識して取り組みました。

実際、他職種も派遣者で構成されており、期間や経験年数が様でないことや、急な施設クラスター受け入れなどが多く、常に相互のコミュニケーションとフォローが不可欠かつ急務でした。例としては、病棟へ出向き、コスト薬の周知や患者状態の聴取、事務部・医師との情報共有、必要薬剤の予測と確保、代替処方を次クール派遣医師が着任した際に処方切れとならないよう、オーダー確認、東京病院スタッフとの共有・すり合わせなどを絶え間なく行いました。

1週間という超短期でしたが、関わった全スタッフと今回の経験は、私にとっての大きな財産となりました。急事の際には尽力しますよう、日頃より邁進する所存です。

また日々多忙な中、私が不在の際に力添えしてくださった渋川医療センターのスタッフにも、心より御礼申し上げます。





コロナ対応における医療従事者派遣

東京都臨時施設に派遣されて

臨床検査技師 **東田 真苗江**

4月4日から22日まで新型コロナウイルス感染症対策のため設置された、東京都臨時医療施設（国立病院機構東京病院）の派遣業務に参画した臨床検査科の東田です。臨時施設はプレハブでつくられた建物が2棟あり、合計80床の規模を、全国のNHOから派遣された多職種スタッフと協働で対応しました。入院患者は1週間程で退院するので入れ替わりが激しかったことが印象的でした。臨床検査技師の主な



防護服を着用している様子



採血室

業務は採血と心電図です。私自身検査技師歴が1年で検査室内での業務が多く、直接患者さんに関わる機会が少なかったことや、対象期間内に派遣されている検査技師も私しかいなかったことで、当初は心もとなさや不安な気持ちが大きかったことを覚えております。しかし、ひとりでは対応困難な業務を、まわりのスタッフに助けをもらいながら進めていくこと

を経験しているうちに、自分自身も手が空いている際は積極的に手伝うことができるようになりました。医療職のタスクシフティングが推奨されている現在において、検査技師も検査室に留まらず病棟や外来で患者と関わる機会が増えてくるのが、今後予想されます。今回、派遣業務に参画したことで、他職種と協働することが、より良い医療を提供するにつながることを肌身をもって経験できました。今回の経験は、今後の検査技師人生の中で私にとって良い端緒となったと感じております。



ポータブルの心電計を使って心電図を取っている様子

永年勤続表彰30年を受賞して



院長 蔦田 富士雄



私が群馬大学の旧第2外科を退局して国立療養所西群馬病院外科に就職したのが、1991年6月のことですので30年以上が過ぎました。この度の30年勤続表彰を受け、戴いた銀杯に20年表彰で戴いた銀杯を重ねて見て（写真）、30年という長い間にいろいろな出来事があり、経験を積み重ねて今があるのだと思いました。まだこれからもいろんな経験をしていくことでしょうか、

日々精進して努力を重ねていくつもりです。

副院長 松本 守生

不安と希望を胸に研修医生活を始めてから、すでに30数年が経過しました。夢と元気以外は何も持っていなかった若手医師も、たくさんの経験を積み現在に至っています。転勤の多い医師生活の中で最も長く勤務したのが、西群馬病院及び現在の渋川医療センターです。多くの患者さんや職員の方々に支えられて、今まで何とかやってこれましたが、皆様には感謝しかありません。この病院で働けたことを医師人生の宝だと思っています。

業務班長 白石 邦夫

この度、私事ですが永年勤続30年表彰をいただきました。あっと言う間の30年でいろいろな事がありました。30年前の自分は、とにかく仕事に慣れるので精一杯でした。事務職と転勤は付き物で渋川医療センターは8施設目です。実は11年前に西群馬病院でも3年間勤務していました。これまで沢山のひとと出会い、支えられながら30年も勤務出来た事は、感謝という言葉しか思い浮かびません。今後も皆様に支えてもらいながら元気に勤務していきたいと思っています。

6階東病棟看護師長 金子 清美

看護師となり、結婚・出産・育児といったライフイベントを経験し、職場や家族の協力のもと産後休暇後から復帰し、今日まで働き続けてきました。仕事と育児を両立できる環境にあり、仕事にやりがいを持ち充実した看護師人生を送ってきたと思います。「患者さんのためにできること」を考え、患者さんが満足することで自分の充実感につながったと思います。職務満足度と患者満足度が向上できるように、貢献していきたいと思っています。

永年勤続表彰30年を受賞して



副臨床検査技師長 **川上 喜久**

この度、永年勤続表彰（30年）をいただき、誠にありがとうございました。思えば10年前の永年勤続表彰（20年）も西群馬病院に勤務していた時でした。あの頃は当時の斎藤院長（現名誉院長）や蒔田副院長（現院長）の先生方と、ケーキと紅茶を飲みながら談笑したことが懐かしく思い出されます。今はコロナ禍でそれは叶いませんが、またそのような日が訪れることを願っております。

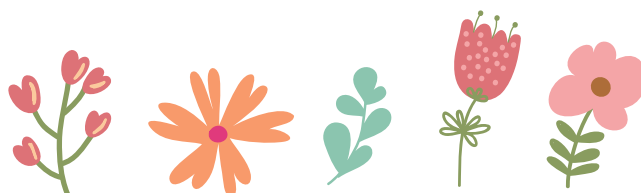
今後もより一層気を引き締めて業務に取り組んで参りますので、引き続きよろしく願いいたします。

調理師 **榎田 義彦**

この度は永年勤続にて表彰していただき、とても光栄に思っております。当時の国立高崎病院にて採用され、30年の月日が経過しました。振り返れば色々な事があり、特に渋川医療センター開院時には、慣れない職場環境でクオリティを維持しながらの仕事は、とてもやりがいがあり、良い経験をさせていただいたと思っております。これもひとえに、上司や同僚の協力があったからこそこの事だと感謝しております。ありがとうございました。

3階西病棟看護師 **石関 富美子**

この度は、このような表彰と記念品を頂き誠に有難うございました。ここまで続けられたのはスタッフの方々、患者様やそのご家族との素敵な出会い、家族の支援があったからだと思えます。買い物中に、患者様のご家族から身に余る言葉をかけて頂き、3人の子供達は医療の道へ進んでくれ、今まで仕事を続けてきたことを認めてもらえた気がします。今後も、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



永年勤続表彰20年を受賞して



手術室看護師長 **大石 一輝**

私は20年前に山梨県にある甲府病院に就職し、5年前から渋川医療センターで看護師長として勤務しています。今年の4月より手術室に配置換えとなり、看護師経験においてはじめての手術室です。新しい環境で学ぶべきことはまだまだ沢山あると実感しています。人生100年時代を向かえ、さらに30年40年の勤続ができるよう心身を整え、学びながら過ごしたいと思っています。

撮影透視主任 **鈴木 美紀子**

この度、永年勤続表彰を頂きありがとうございました。

西群馬病院に入職し、その後は南横浜病院、国立成育医療センター、高崎総合医療センターで勤務し、主任として西群馬病院へ戻ってきました。ここ渋川医療センターで表彰を頂けたことをうれしく思います。これまで仕事を続けることができたのも、一緒に働いてきた職員の皆様、そして家族のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

新人の頃に、「毎日同じことをしているのではだめだ。1つ新しいことをしていくように」と先輩から言われたことを思い出しました。今後も新しいことを積み重ねていけるように頑張りたいと思います。これからもご指導の程よろしくお願い致します。

主任調理師 **深代 透**

この度は、永年勤続の表彰をいただき、誠にありがとうございます。私が長年勤務できたのも職場の先輩方のお陰だと感謝しております。

20年過ぎ去った年月を振り返りますと、表彰に値するようなことは、何一つ思い当たりませんが、自分たちに与えられた仕事をいつも精一杯やり遂げることができたように思います。これからも患者さんのことを想って、美味しい食事を提供していきたいと思っています。

外来看護師 **山田 はるえ**

この20年間を一言で表せば「静と動」だと言えます。緩和ケア病棟勤務時は、ゆったりとした時間の中で患者さんやご家族と向き合うことの大切さを学びました。その経験が、私の看護の原点です。現在は外来化学療法室に勤務しています。頭も体もふる回転で業務する中、同じ志を持った仲間存在に助けられ忙しくても患者さん一人ひとりの尊厳や意思決定を支える看護を実践しています。長きに渡る看護人生を支えて下さった周囲の皆様に感謝し、残りの看護実践を楽しく充実したものにして行きたいと思っています。

緩和ケア病棟看護師 **戸塚 理佐**

2002年4月に国立療養所西群馬病院に入職した時を思い返すと、何もわからず患者様の食事介助が上手に出来なくて、たくさんの先輩にコツを教えて頂いたことを思い出します。自分でも工夫しながら行くと患者様に安全・安楽に食事介助ができるようになり、うれしく感じたのが昨日のようです。今後は今まで経験してきたことを活かし、患者様に安心して療養生活を送っていただけるような看護ができるように頑張っていきたいと思っています。

職場紹介：栄養管理室

栄養管理室長 高塚 真理

栄養管理室は、「質の高い食事サービスと安全管理の徹底」をモットーに、管理栄養士6名、調理師10名で食事の提供や病棟での栄養サポート・栄養食事指導を行っています。

病院食の提供

当院の食事は、病態に合わせて管理栄養士が献立を作成し、地下1階にある厨房で調理を行っています。1食あたりの提供数は、約300食です。スチームコンベクションオーブンや回転釜などの調理機器を使用し、心のこもった調理・安全安心な食事提供を心がけています。入院中においしい食事を食べていただけるよう、日々メニューの改定や調理方法の工夫を行っています。

病棟での栄養サポート

各病棟に担当の管理栄養士を配置し、食事摂取量の確認や栄養管理計画書による栄養アセスメントを行っています。日々変化する病態に合わせて、適切な食事の栄養量や食事の形態などを検討し、調整を行います。また、栄養サポートチームや褥瘡対策チーム、緩和ケアチームにも参画し、多職種との連携を図っています。

栄養食事指導

入院・外来合わせて年間約1700件（令和3年度）の栄養食事指導を実施しております。内容として「がん治療中の食事」が最も多く（全体の45%）、次いで「糖尿病」（全体25%）です。「治療中に食事量が減ってきて心配」「糖尿病の食事療法について聞いてみたい」など、食事についてお困りの際は、お気軽にご相談ください。普段の食生活について聞き取りを行い、お一人お一人の嗜好や食事環境も踏まえて栄養指導させていただきます。



スタッフ集合写真

職場紹介: 5階東病棟

5階東病棟看護師長 萩原 久実子

5階東病棟は、脳神経外科・乳腺内分泌外科・放射線治療科・消化器内科・呼吸器内科の混合病棟です。患者さんは手術や検査、化学療法、放射線治療を目的に入院されています。

脳神経外科では、2021年7月に「てんかん支援拠点病院」に指定され、難治性てんかん治療に取り組み始めました。2022年4月からは小児科医師とも連携し、小児から学童期の患者さんの受け入れも行い診療にあたっています。また、重度のパーキンソン病や痙縮四肢麻痺に対する治療も受け入れています。看護においては「てんかんコーディネーター」を育成し、スタッフ全体が治療に応じた看護を提供



できるよう努めています。また、未成年期から高齢者の方まで幅広い年齢層の患者さんが入院されるため、慣れない環境下でも安心安全に過ごせるよう心掛けています。疾患の影響で日々の生活上介助を必要とされる患者さんには、転倒・転落防止策等に取り組み、ADLの維持に努めています。

乳腺内分泌外科では、主に乳がん患者さんの手術療法が対象となります。手術に伴う不安やボディイメージの変化など、外来受診時の患者さんにも関わり、手術前後や退院後についての指導等、精神的支援にも力を入れています。

放射線治療科では、病期・治療部位に応じ照射治療を予定通り継続できるよう、疼痛コントロールや副作用の観察、セルフマネジメントに向けた患者指導を行っています。晩期副作用は自宅に帰ってから



出現する恐れもあるため、入院中から繰り返し説明を行い、ご理解頂けるよう不安の軽減に繋がっています。

各診療科によって疾患の特徴や看護は異なりますが、患者さんが退院後もその人らしく生活することができるよう、MSW・リハビリテーションスタッフ、栄養士、薬剤師など多職種と協力し、日々の看護に取り組んでいます。

コロナ禍におけるマンモグラフィ検査

放射線科 撮影透視主任 鈴木 美紀子



●コロナ禍のマンモグラフィ検査の問題

長引くコロナ禍で、検査時の感染が心配で、乳がん検診を受けられていないという方も多いようです。そればかりでなく、ご自身の乳房のしこりに気づいていても、受診が先延ばしになっているという方もいらっしゃるかもしれません。

●ウイルスの存在する場所

SARS-CoV-2 は 50 ~ 200mm ほどの大きさで、感染者の肺以外に、唾液、鼻水、喀痰などの上気道の分泌物に多く存在します。夏場になると汗が気になることもありますが、汗自体にウイルスが存在する可能性はないと考えられています。また、マンモグラフィ検査の際に乳頭分泌が認められることがありますが、乳頭分泌物中の SARS-CoV-2 を検討した文献は認められず、血液や尿からは検出されないという報告から推察すると、乳頭分泌物中に SARS-CoV-2 が存在する可能性は低いと考えられます。

●マンモグラフィ検査時の感染リスクは？

検査者と受診者がお互いにマスクをして、通常の音量で会話をしていれば、マンモグラフィ検査は感染のリスクが低い検査であるといえます。また、お互いが新型コロナワクチンを接種していれば、感染のリスクは大きく低下します。

当院では、接触感染の予防として、検査開始前と1回の検査終了ごとに、検査者の手指消毒と受診者が触れた可能性のある部分の消毒を行っています。

日頃から自身の乳房に関心をもっといただくことが大切です。

40歳以上の症状のない女性は、2年に1回乳がん検診を、また、しこりや血性の乳頭分泌などの自覚症状のある場合は、放置せずに速やかに乳腺外科を受診することが重要です。



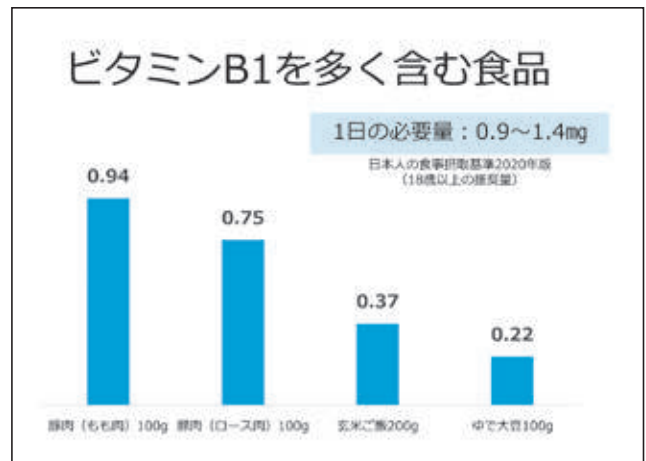
～夏に摂取したい栄養素とは？～

栄養管理室長 高塚 真理

いよいよ夏本番の季節がやってきました。この時期は暑さで食欲が低下したり、たくさんの汗をかいて体力が消耗したりして、栄養不足に陥りがちです。すると、疲れやだるさなど、夏バテの症状が現れやすくなります。夏バテを防ぐには、食欲がなくても、できるだけ栄養バランスの良い食事をおいしく食べるようにすることが大切です。本日は、特に重要なビタミンB1、ビタミンC、良質なたんぱく質の3つの栄養素についてご紹介します。

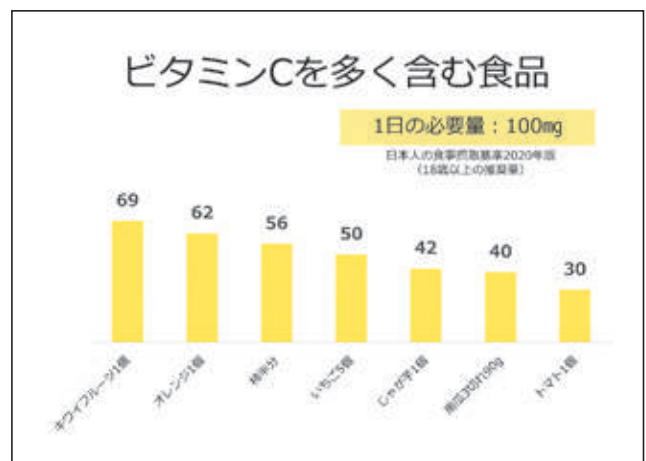
1. ビタミンB1

ビタミンB1は、炭水化物を分解して体内でエネルギーに変えるために必要な栄養素です。発熱や過労時に多く消費されます。また、ビタミンB1は体内で蓄えておくことができず、汗とともに排出されやすいため、発汗量の多い時期は意識して摂るようにしましょう。



2. ビタミンC

ビタミンCには、ストレスに抵抗するための「副腎皮質ホルモン」の合成を促す働きがあります。暑さや疲労を感じると、ビタミンCが多く消費され、また、一度に大量に摂取しても余った分は尿から排泄されてしまうため、毎日摂取することが大切です。また、ビタミンCには抗酸化作用が認められており、紫外線対策にも積極的に摂りたい栄養素です。



3. 良質たんぱく質

良質たんぱく質とは、必須アミノ酸をバランスよく含んでいるたんぱく質のことです。体の中で効率よく利用され、体を作る材料となります。暑さで食欲がなくなると、食事量の低下に比例して、良質たんぱく質の摂取も不足してしまうため、意識して摂りたいものです。良質たんぱく質は、肉類、魚介類、大豆製品、卵などに多く含まれているので、メインディッシュとして食べるほか、食欲がない時などは、豆腐や卵などを麺類やサラダに追加するのも1つです。



渋川医療センター外来診療担当医表

(令和4年7月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前				モリ カズヨ 森 一世	
	午前				カワシマ チエコ 川島 智恵子	
循環器内科	午前	ナカジマ タダシ 中島 忠	マツオ ヤエ 松尾 弥枝(北関) (第1.3.5週) イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2.4週)	ミキ コウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1.3.5週)(予約制) クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2.4週)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治 (第1.3.5週) ナカシマ クニキ 中島 邦喜(北関) (第2週) ツボイ エイトシ 坪井 栄俊(北関) (第4週)
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1.3.5週13:30~)		
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨコタ イタル 横田 暢(群大)	クワコ トモヒト 桑子 智人	オオヌキ ユウジ 大貫 祐史	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	オシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチヤ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 覚
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	オシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前から 14時迄	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣		オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前		ハラ ケンタロウ 原 健太郎(群大)		ワカマツ イクオ 若松 郁生(群大)	
内分泌・代謝内科	午前			オオサキ アヤ 大崎 綾(群大)	シヨウダ ヨシヒト 正田 純史	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大)
	午後	シヨウダ ヨシヒト 正田 純史	シヨウダ ヨシヒト 正田 純史			
内科 Walk in 外来 (研修医外来)	午前	ワタナベ サトル/オオヌキ ユウジ 渡邊 覚/大貫 祐史 ミハラ マサヒロ/マツモト アキラ 三原 正大/松本 彬	マツモト モリオ/サイトウ アキオ 松本 守生/斎藤 明生 テラサキ ユキエ/イリウチシマ ヒロノ 寺崎 幸恵/入内島 裕乃	シバサキ エリナ 柴崎 絵里奈		オオサキ タカシ/オチアイ マイ 大崎 隆/落合 麻衣 ムラタ ケイスケ/シバサキ エリナ 村田 圭祐/柴崎 絵理奈
小児科 (重心のみ・予約制) 小児神経(てんかん)予約制	午後			イノウエ フミタカ 井上 文孝(重心)		
	午後	イダ クニコ 井田 久仁子 (小児神経)				
血液内科	午前			マツモト アキラ 松本 彬		
	午前	テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(第3週)			
	午前	サイトウ アキオ 斎藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斎藤 明生
	午前	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	サウムラ モリオ 澤村 守夫	テラサキ ユキエ 寺崎 幸恵	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
消化器内科	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	サトウ ヒロコ 佐藤 洋子	ヤマザキ コウイチ 山崎 勇一(群大)	スガ タカヨシ 須賀 孝慶	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前	キムラ コウコウ 木村 有宏	シミス ソウイチロウ 清水創一郎(群大)	ヒロカワ トモユキ 廣川 朋之	ナガシマ タモン 長島 多聞	アタチ タクヤ 安達 拓也(群大)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		イトウ ヨシヒコ 伊藤 義彦	イトウ ヨシヒコ 伊藤 義彦	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ マサノ/カミヌマ タクヤ 松浦 正名/神沼 拓也	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサノ 中村 勇司/松浦 正名 カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ 神沼 拓也/桑子 慧子	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ/ナカムラ ユウジ 神沼 拓也/桑子 慧子/中村 勇司	カミヌマ タクヤ/クワコ ケイコ/マツウラ マサノ 神沼 拓也/中村 勇司/松浦 正名	クワコ ケイコ/カミヌマ タクヤ/マツウラ マサノ 桑子 慧子/神沼 拓也/松浦 正名
	午後					
	午前	ナカムラ ユウジ 中村 勇司				ナカムラ ユウジ 中村 勇司
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆	セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注)担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※第1・3・5水曜日の循環器内科は完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんごみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承願います。

◎予約変更について 受付時間：平日13～17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)

TEL.0279-23-1010 (代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	ヌマガ コキ 沼賀 有紀	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		マキ シンゴ 真木 茂雄	スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)		
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
呼吸器外科	午前	ヤマキ エイ 八巻 英		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前			オノサト リョウイチ 小野里 良一		ヤマキ エイ/オノサト リョウイチ 八巻 英/小野里 良一
脳神経外科	午後					イタバシ ユウタロウ 板橋 悠太郎
	午後14時~					アイシマ カオル 相島 薫 (群大)
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 【予約制】高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ 宮城島 孝昭 (群大)		イベ ヨウコ 伊部 洋子 (群大)
	午後(予約)			ヒラト マサブミ 平戸 政史		
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後(予約)				ヒラト マサブミ 平戸 政史	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロモデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽	イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)		カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)	オカムラ コウイチ 岡邨 興一(群大) (第1.3.5週) アリザワ シンスケ 有澤 信亮(群大) (第2.4週)		ヨネモト ユキオ 米本 由木夫 (第2.4.5週) 【リウマチ専門外来】
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知			カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ササキ タカフミ 佐々木 隆文	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ササキ タカフミ 佐々木 隆文
	午後(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ササキ タカフミ 佐々木 隆文		タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前10:00まで	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦	ササキ タカフミ 佐々木 隆文	タムラ ヨシミ 田村 芳美	スギノ アキヒコ 杉野 陽彦	タムラ ヨシミ/ツジユウスケ 田村 芳美/辻 裕亮 (群大)
	午前10:00まで				ササキ タカフミ 佐々木 隆文	
	午前10:00まで					ツジ ユウスケ 辻 裕亮 (群大)
耳鼻咽喉科	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	アラキ タケシ 荒木 健
	午後(予約)	アラキ タケシ 荒木 健	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	アラキ タケシ 荒木 健
	午前	アラキ タケシ 荒木 健	サイトウ マサツグ 齋藤 暢胤 (群大) (第2.4週)	アラキ タケシ 荒木 健	アラキ タケシ 荒木 健	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後(予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後(予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前			タカヤマ マユコ 高山 真祐子 (群大)		
	午後(予約)		グンダイシ 群大医師			
	午前	シノハラ ヨウイチロウ 篠原 洋一郎 (群大)				

セカンドオピニオン担当医表 (令和4年7月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘	—	吉井 明弘	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	—	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	—	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,500円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー
電話:0279-23-1010(代表)
(受付時間は平日8:30~17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:207-ShibuKawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編 集 後 記

先日、コロナ禍が収まったら何処へ行きたいかと質問され日本地図を広げて見ました。良く見ると、足を踏み入れた事のない県が10県あり、何となく思い立ってグーグルマップのストリートビューで名所巡りしてみました。10県の名所を巡るのにたった4時間です。何となくですが、旅行した気になったのは私だけでしょうか?これから誰かに〇〇行ったことあると聞かれたら「あるよ」って答えると思います。

梅雨が明ければ本格的な夏の到来です。体調を崩しやすい季節になります。皆様どうぞ自愛下さい。(K.T)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011
<https://shibukawa.hosp.go.jp>